

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [26054] 抗ARS抗体

#### 受託開始日

- 平成26年3月11日(火)

# 抗ARS抗体

多発性筋炎 (polymyositis:PM) / 皮膚筋炎 (dermatomyositis:DM) は自己免疫疾患の一つで、腕や脚などの様々な筋肉が炎症を起こして運動が困難になり、日常生活にも支障をきたし難病指定もされている疾患です。また、わが国での統計では発症者数男女比が1:3と女性に好発とされています。

PM/DMに出現する自己抗体として、筋炎特異的自己抗体 (MSA) と他の自己免疫疾患でもみられる筋炎関連自己抗体 (MAA) が知られています。

抗アミノアシルtRNA合成酵素 (ARS) 抗体は、ARSに対するMSA群の総称です。

ARSはアミノ酸とそれに対するtRNAの結合を触媒する酵素であり、各々のアミノ酸に対し約20種類のARSが知られております。なお、既存の検査である抗Jo-1抗体はヒスチジル tRNA合成酵素を認識する抗体で抗ARS抗体の一つです。

抗ARS抗体陽性患者では、抗合成酵素抗体症候群 (anti-synthetase syndrome : ASS、或いは抗ARS抗体症候群) という特徴的な症候群を呈します。筋炎のほかに間質性肺炎をほぼ100%近く併発し、慢性化しやすいことが挙げられます。さらにレイノー現象や多発関節炎、および手指の特異的な病変を伴う「機械工の手」などの症状を好発するといった特徴もあります。

抗ARS抗体は8種類知られており、本検査はEIA法によりそのうち5種類を検出するものです。抗ARS抗体はPM/DM患者の25~30%に陽性が認められるといわれ、自己免疫性筋炎の診断に有用と考えられます。

## 検査要項

項目コード	26054
検査項目名	抗ARS抗体
検体量/保存方法	血清 0.3mL / 冷蔵
検査方法	EIA
基準値	陰性 (-) Index 25.0 未満
所要日数	3~9日
検査実施料	190点 <sup>*1,2</sup> ( [D014] 自己抗体検査 [13] 抗ARS抗体)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	*1: 本検査と本区分「9」抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量または抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定できます。 *2: 本検査と本区分「9」から「11」までに掲げる検査を2項目または3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ320点または490点を算定できます。ただし、本検査と本区分「9」抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量または抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は1項目として数えます。

## 参考文献

吉藤元：医学のあゆみ, 239(1), 71~76, 2011